

# 第1学年 国語科学習指導案

児童 1年1組 男子13名 女子15名

指導者 藤澤 千代子

1 単元名 おしえてあげよう！じどう車のひみつ～じどう車カードをつくろう～

2 学習材名

中心学習材 「じどう車くらべ」(光村図書1年下)

補助学習材 「はたらくくるま」(ひかりのくに) 「じどう車ずかん」(自作教材)

自動車に関する易しい読み物や図鑑

自動車に関する易しい読み物等を読み、大事な言葉や文を書き抜き、「じどう車カード」を作ること

3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「自動車に関する易しい読み物等を読み、大事な言葉や文を書き抜き、『じどう車カード』を作ること」を位置付けた。自動車に関する易しい読み物等から、自分のお気に入りの自動車を選び、「しごと」「つくり」の観点で、大事な言葉や文を書き抜き、「じどう車カード」に自分の思いをまとめることである。「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」(C読むことエ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

4 単元について

(1) 児童について

児童は「なぞなぞあそび」では「様子を表す言葉を使って問題を作ること」、「くちばし」では「くちばしのひみつを見つけて、かるたを作ること」、「みつけた」では、「生き物のひみつシートを作ること」の言語活動を経験してきている。これらの活動を通して、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むことを学んできた。「くちばし」や「みつけた」で、鳥や虫、生き物等の写真を見たり図鑑を開いたりする中で、普段は、物語やクイズの本に興味が行きがちな子どもも、説明的文章の読み物への関心が高まってきている。いずれの単元でも、子どもたちは意欲的に活動してきた。しかし、自分の思ったことをまとめるために「大事な言葉や文を書き抜く」ことは未経験である。

よって本単元では、これまでの説明的文章の内容の大体を読むことを既習として、自分の思いを「じどう車カード」にまとめるために、文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことに重点を置くこととする。

(2) 指導について

中心学習材「じどう車くらべ」は、「どんな仕事をするのか」、そのために「どんなつくりになっているのか」というように、問いが二つあるため、二つの段落に分けて書かれている構成である。「しごと」と「つくり」を「じどう車カード」に書き抜いて整理することで、二つの関係性を一層はっきりと理解することができる学習材である。

補助学習材は、自動車に関する易しい読み物や図鑑と自作教材の「じどう車ずかん」である。「じどう車ずかん」は、「じどう車カード」を作る際に、子どもの能力に合わせて活用できるように、いくつかの文体や形式にリライトしたものである。

単元を通して、次の三つを大切にしていきたい。

一つ目は、「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」である。これは、児童の実態から力を引き上げる

必要がある学習内容である。そのため自分の思ったことをまとめるために、「じどう車カード」に「しごと」と「つくり」に関する大事な言葉や文を書き抜かせたい。さらに、既習を生かして、内容の大体を読む力を伸ばしたい。

二つ目は、「本に親しませること」である。子どもの興味関心に応えられるような環境を整えたい。

三つ目は、「接続語を意識させること」である。じどう車の「しごと」と「つくり」は、接続語「そのため」でつながっていることを押さえながら、仕事と作りを関係づけて読み進めるようにさせたい。

本時は、はしご車のひみつについて読み、大事な言葉や文を書き抜き、自分の思いを「じどう車カード」にまとめる時間である。既習を生かして、目標に迫っていきたい。

## 5 単元の指導目標

- 自動車に関する易しい読み物を進んで読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- 自分の思いをまとめるために、文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。 (読むことエ)
- 文の中で、長音、拗音、促音の片仮名を正しく使うことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ウ (ア))

## 6 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語文化についての知識・理解・技能
おおむね達成できる状況	知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みなどについて説明した本や文章を選んで読もうとしている。	科学的なことについて書いた本や文章を読んで、強く興味をもったところや疑問に思ったところ、もっと読んで知りたいところなど、大事な言葉や文を書き抜いている。	片仮名で、長音、拗音、促音を正しく表記している。

## 7 単元の学習計画及び評価計画 (読むこと 10時間)

段階	時間	学習活動と内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
見通す	1	1 学習内容をつかみ、学習計画を立てる。 ○自分が知っている自動車について発表しあうこと ○「じどう車カード」のモデルカードを提示すること ○学習計画を立てること	○身近にある自動車について発表させ、説明的文章を読むことにつなげる。 ○「じどう車カード」から活動のイメージをもたせる。また、単元の課題をつかませる。 ○文章構成が生かせるような「じどう車カード」の構成にする。	関 一身の回りにある自動車に関心を持ち、そのひみつに興味をもって学習しようとしている。(発言)
	2	2 いろいろな乗り物の本を開き、お気に入りの自動車を探す。 ○新出漢字の練習をすること ○興味のある自動車に付箋を貼ること	○「すごい」「びっくり」「はじめてだった」という驚きや感動を大切にする。	

おしえてあげよう！じどう車のひみつ～じどう車カードをつくろう～

深 め る	3	3 バスや乗用車のひみつを見 つける。 ○絵や写真と文を照応させな がら、バスや乗用車のひみつ を見つけること	○事柄の順序を捉えさせるために、セン テンスを色分けして囲む。 ○三つのセンテンスに分けて、何が書い てあるのか捉える。 ○「しごと」と「つくり」にサイドライ ンを引く。 ○「そのために」という言葉に着目させ る。 ○バスや乗用車で学習の仕方を活用し て読ませる。 ○片仮名は筆順を確かめながら書かせ る。	読 一自動車のひみつ を「しごと」と「つ くり」の観点から 見つけ、大事な言 葉や文を書き抜き ながら、内容の大 体を読んでいる。 (発言、カード)
	4	4 トラックのひみつを見つけ る。 ○既習を活用して、トラックの ひみつを見つけること ○トラックの「じどう車カー ド」を作ること	○バスや乗用車、トラックでの学習の仕 方を活用して読ませる。 ○片仮名は筆順を確かめながら書かせ る。	
	5	5 クレーン車のひみつを見つ ける。 ○既習を活用して、クレーン車 のひみつを見つけること ○クレーン車の「じどう車カー ド」を作ること	○バスや乗用車、トラックでの学習の仕 方を活用して読ませる。 ○片仮名は筆順を確かめながら書かせ る。	
	6	6 三つのじどう車を比べて読 む。	○三つの自動車を並列的に提示し、共通 点、相違点を見つけ、文章構成を確か める。	
	7	7 はしご車を使って、「じどう 車カード」を作る。	○はしご車は、今までとは異なる形式の 文章にし、他の図鑑的ものへとつなげ られるようにする。	
	8	8 「じどう車カード」を作る。 ○「じどう車ずかん」や自動車 に関する易しい読み物を読 み、書きたいじどう車のひみ つを見つけ、「じどう車カー ド」を作ること	○「じどう車ずかん」を楽しんで読みな がら、「じどう車カード」に書きたい車 を選ばせ、作らせる。 ○様々な文体に慣れさせることと個人差 に対応するために、それぞれの力量に 合わせて、資料を選ばせる。	
広 げ る	9	9 交流と振り返り ○「じどう車カード」で交流す ること ○学習を振り返ること	○「じどう車カード」を堪能しながら、 大事な言葉や文を書き抜かせる。	言 一カード作りの中 で、片仮名で、長 音、拗音、促音を 正しく使ってい る。 (カード)
	10			

8 本時の学習 (7/10)

(1) 目標 文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、はしご車の「しごと」や「つくり」、自分の思いを「じどう車カード」にまとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容 (◎主発問)	指導と評価のための工夫
5	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題, 学習の流れを確認する。	○三つの自動車の「しごと」と「つくり」を確認すること	・三つの自動車の共通点と相違点, 文章構成を確認する。
	はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて、「じどう車カード」にまとめよう。		
35	3 はしご車のひみつを見つける。 (1) 自分の思いを発表する。 (2) 「はしご車」を説明する文を読む。 (3) 「しごと」と「つくり」を見つける。 (4) 「じどう車カード」にまとめる。  (5) 交流する。	○自分の考えをもつこと ・はしご車に対して思ったことを発表する。 ○「バスやじょうよう車」「トラック」「クレーン車」を説明する文との, 書き方の違いを見付けること ・横書きになっている。 ・「しごとをしています」がない。 ・「そのために」がない。 ○「しごと」と「つくり」をとらえること ・三つのセンテンスを色分けして囲む。 ・大事な言葉にアンダーラインを引く。 ○大事な言葉を書き抜き, 「じどう車カード」に書き, 自分の思いをまとめること ・人をたすける (しごと) ・ビルの火をけす (しごと) ・はしごがながくのぼせる (つくり) ・人がのれるバスケットや, 水を出すホースがついている (つくり)  ○自分の考えを深めること ・ペアで「じどう車カード」を発表し合う。  ◎どうしてはしご車は, 人を助けたり火を消したりすることができるのですか。	・ひみつを見つける前の思いを視点とする。 ・教科書と図鑑の表記上の違いを見付けさせ, いろいろな表し方があることに気付かせる。 ・見つけられない児童には, 絵と文を照応させたり, 「しごと」の文「つくり」の文「そのために」等の既習を想起させたりして支援する。  ＜評価規準＞ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜き, 思ったことを「じどう車カード」にまとめることができる。 (発言, カード)  ・同じ車の「しごと」と「つくり」をとらえても, それぞれが思ったことは違うことを視点にして, ペアで交流を図る。 ・「どうして」と理由を問うことで思考させ, 理解を深め

	4 音読をする。	○句読点や口型に気を付けて、明るい声で音読をすること	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習を活用して「しごと」を見つけられるように、絵や写真と文を照応させるように、働きかける。</li> <li>音読することで、「しごと」と「つくり」は接続語「そのために」でつながっていることを再度意識させる。</li> </ul>
終 末 5	5 学習を振り返る。 6 次時の学習を確認する。	<p>○ふりかえりシートを使って、自己評価をすること</p> <p>○自分のお気に入りの「じどう車カード」を作っていくことを確認すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点に沿って振り返ることで、本時で身に付けた力を実感させるようにする。</li> </ul>

(1) 板書計画

一 はしご車のひみつを見つける。

ワークシートを拡大したもの

はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて、「じどう車カード」にまとめよう。

おしえてあげよう！じどう車のひみつ  
〜じどう車カードをつくろう〜

二 「じどう車カード」にまとめる。

三 ふりかえりをする。